

令和5年度 「医学セミナー（医師の学校訪問）」

【日 時】 11月25日（土） 13:30～15:30

【場 所】 本校西教室

【参加者】 本校生9名（1年生8名、2年生1名）

【講 師】 北澤 伸祐 先生

（筑波大学 医学医療系 呼吸器外科）



＜アドバイザー＞

- 福元 崇人 先生（国立病院機構 水戸医療センター 研修医） 本校卒業生
- 穂戸田 勇一さん（筑波大学医学群医学類5年）
- 池田 周平さん（同3年）
- 三谷 謙仁さん（同3年）

今年度も「高校生のための医学セミナー(医師の学校訪問)」が実施されました。この事業は、茨城県教育委員会と筑波大学との連携により、医学を志す高校生を支援しようとの目的で実施されており、9名の生徒が参加しました。

講師は 北澤 伸祐 先生（筑波大学 医学医療系 呼吸器外科）。そしてアドバイザーとして筑波大学医学群医学類所属の大学生3名（医学5年で常総市出身の穂戸田さん、医学3年の池田さん、三谷さん、お2人とも並木中等教育学校出身）にも参加していただきました。そしてもう一人、本校OB（元生徒会長）であり、現在研修医として国立病院機構 水戸医療センターで勤務されている福元さんが、ご多用を極めるなか、なんと7度目の参加を実現させていただきました（ありがとうございます）。

＊

＊

＊

セミナーは、まず北澤先生の講話から始まりました。カナダのトロント総合病院研究所（ラトナー胸部外科研究室）での研究実績もお持ちである先生から、専門の呼吸器外科についてのお話を中心に伺いました。

呼吸器とは心臓以外の胸部臓器のことであり、まさに「直接命に関わる」臓器です。思うようにいかないことも多く、北澤先生ほどのスキルと経験を有する医師であっても「やはり肺手術は怖い」「覚悟がいります」とのことでした。

生徒からは「呼吸器以外の専門にした方がよかったと思ったことはありますか？」という質問も出ましたが、先生は「後悔したことはありません」ときっぱり仰いました。

「物事を決めるとき、『決めなかったこと』を経験できるわけではない」

「飛びこんでみる、という姿勢も必要」

これら先生のお言葉の数々は、生徒たちの胸にも刺さったはずです。

そしてもう一つ、先生が強調しておられたのが「ノンテクニカルスキル」の重要性でした。

これについても生徒から「どのように磨けば良いですか？」との質問があがりましたが、北澤先生は「評価は難しいけれど、いかに人と協調して物事を進められるか。そして色々なことと関わって、トラブルからも学んだり、反省したりすること。日々の生活や友人との会話が大切です」とのお答えをいただきました。

他にも医師を志した契機、勉強と部活動（高校時代はサッカー部に所属）について、大学時代に所属したアイスホッケー部のこと、カナダでの経験（留学のメリットとデメリット）、そして「何かを決断する時に必要な4つのポイント」など、短時間ながら実に中身の濃いお話を窺うことができました。

*

*

*

そして後半は研修医の福元さんと3名の学生さんに北澤先生も加わり、生徒とのグループワークを行いました。皆さん生徒からの質問に真摯に答えてくださり、時には生徒たちに水を向けて対話をリードしてくださいました。生徒たちはまたとない貴重な機会を得ることができたはずです。



なお、OB の福元さんは「後輩が筑波の医専に入学したら、高級焼肉をご馳走する（自分自身もかつてそうしてもらったので）」と毎年のように仰っていましたが、近いうちに実現すると思います。ご準備をお願いします(笑)。

まだまだ医療体制の逼迫が続くなか、こうして貴重な機会をいただいたことに対し、ご協力いただいた方々に心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

☞ 生徒のアンケートより

◇ 今回の事業への参加は、あなたにとって意義がありましたか？

・大いに意義があった	…	75%
・意義があった	…	25%
・どちらとも言えない	…	0%
・あまり意義を見出せなかった	…	0%
・意義を見出せなかった	…	0%



◇ 今回の事業に参加した「感想」を記してください。

- 今回のグループ講義や先生の講話、特に筑波大では研究に専念できると聞いたところが最も心に残りました。今日の一年生の質問の内容を近くで聞いたことも、滅多にある機会ではないので様々な考えを学ぶことができよかったと思います。これから勉強を進めていく上で、今日の講習会で学んだことを活かし、勉強に励んでいきたいです。
- 身内に医療従事者がいなかったのも、ネットで調べてもあまりわからなかったことを色々聞いてよかった。今回のセミナーで、より医療系の職業を目指すモチベーションが上がったと思う
- 実際に医療の現場で働いていらっしゃる先生方のお話や、医師になるために努力していらっしゃる医学生の方々のお話を聞くことができ、良かったです。自分で調べたり、学校の先生方に聞くだけではやはり得がたい経験だったと思います。これを活かし、自らの進路形成に役立てたいと思います。👤
- 実際に現場で働いている先生だったり医学生だったりの進路やアドバイスを聞いて楽しかったのもあるし、学べるものがたくさんあった。これから先何をしていけばいいか、精神論などどうすれば折れないか、成績を上げるために何ができるかなど、自己管理のスキルを理解した。それらが無駄にせず医・医に行くためにできる限り頑張りたい。未来は自分で拓けるから「努力」と呼べるまで勉強する。結果を出せるようにしたい。とても意義ある時間で楽しかった！

- 自分は大学でどの学科に入るか決まっておらず、将来についても決まっていないので道を増やすという意味で参加しましたが、実際の医学・医療について詳しく知ることができたため、参加した意味が大いにあると感じました
- 講師の方が知識よりもコミュニケーション能力の方を重視されていたことに驚いた。
- 部活とどう区切りをつけるかのお話もお聞きできて、すごくいい機会だった。

